

# 高齢者等の資源ごみ収集について問う

## ごみ出し困難者対策事業で対応



宮本 昭一 議員

昨年9月に高齢者で独り暮らしや体調に不安を抱えている方々の資源ごみ分別収集について質問をしたが、本町の65歳以上の高齢化率は本年8月末で31・8%となっており、少子高齢化が一層進むにつれて高齢で体が不自由な方々にとっては資源ごみの分別が大変な負担になってきている。その後、具体的にどのような対策を講じたか。

### ごみ出し困難者対策事業で対応

町長

本年度の10月から大崎

町ごみ出し困難者事業を実施する予定である。本事業は家庭ごみの排出に支障をきたしている高齢者、心身障害者等の負担を軽減し、併せて安否確認をすることにより町民サービスの向上及び、高齢者並びに心身障害者等の福祉に資することを目的としている。対象者については、日常生活に介助が必要な方、心身に障害がある方で独り暮らしの世帯などを対象に考えている。

### 外周の整備計画は

宮本議員

中央運動公園は駐車場整備とグラウンド造成工事が施工され、本町のスポーツ振興を図る上からも素晴らしいと思われている。9月補正で管理棟新

築工事が計上されており、さらに充実したものになると思っているが、外周の整備計画はどうなっているか。

### 周回コースの整備は終えている

町長

住民の方々が、様々なスポーツに親しむことができるよう全面芝生化で整備した。この整備には地域住民の要望により、ウォーキングまたはジョキングコースとして、幅5メートル、延長700メートルの周回コースの整備を終えているので、皆さんに有効利用いただきたい。



整備されつつある中央運動公園

### ラバーコートにする考えは

宮本議員

周回コースはやはり人の体にやさしい、ラバーコート等の配慮が当然必要と思うが、どのように考えているか。

### 利用状況を見ながら

町長

周回コースのラバーコートでの整備については、芝も十分に活着してない状況であり、いずれは整備の必要性があるかもしれないが、現時点では利便性の有無、現在の利用状況等を見ながらやっていきたい。

### 駐車場は足りるのか

宮本議員

今の駐車場の広さでは運動会や町内外の大きな大会を行った場合、足りないと思うが、どのように対処するのか。

### 芝生内を臨時駐車場として利用

教育長

駐車場は合計110台程度の利用が可能で、大きな大会で不足が生じる場合は、北側の芝生内を臨時駐車場として考えている。

### 集落未加入者の対策は

宮本議員

集落未加入者に対し、今後どのような対策を講じる考えか。

### 研修会等で促進を図る

町長

集落加入を推進するポスターの作成、自治公民館長研修会や集落担当職員が集落総会等の会合時に、集落加入促進をお願

いするなど、地域と行政が一体となって取り組んでいく。

### 防災上問題はないか

宮本議員

混住化社会の中で、自主防災組織を作るなど色々な連携の中で、集落未加入者の防災上、大なり小なり問題が出てくるのではないかと思うが、どのように捉えているか。

### 問題はないと認識している

町長

災害が発生した場合の住民への対応は、防災行政無線や、ホームページ等を活用した広域避難所の事前周知や、広報車の活用が考えられる。今後町内全世帯へ防災行政無線の戸別受信機の配置を計画しており、災害時の情報伝達などは、集落への加入、未加入には関係なく防災上の問題はな